

# オオフサモ

分類: 離弁花類、アリトウグサ科、フサモ属

学名: *Myriophyllum aquaticum*

英名: Parrotfeather, Brazilian watermilfoil

和名: オオフサモ

別名・流通名: ヌマフサモ、スマフサモのほか、熱帯魚店などでは、パロット・フェザーの名で呼ばれる。

原産地と分布: 南アメリカ原産、北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、オセアニアに分布する。

未判定外来生物: なし。

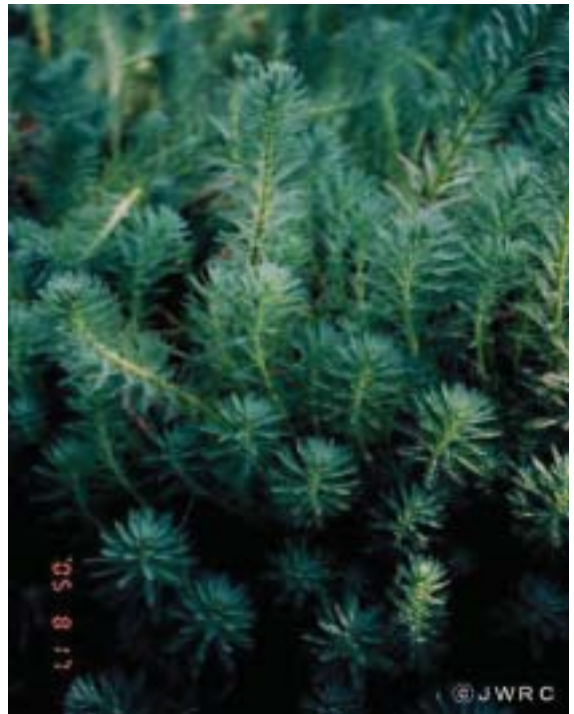
種類名証明書添付生物: フサモ属全種(45種)

## 形態的特徴:

**葉:** 羽状葉が5-6(3-7)輪生する。気中葉は1-3cm間隔に着き、粉白色をおびた緑青色、長さ1.5-5cm。小葉片は、鈍頭の線形で10-15(20)対、長さ3-5mm、幅約1mm。水中葉は、茶緑または浅緑色で、長さ6cmに達する。小葉片は、ひげ状に細列する。葉の基部は左右に白色短小の毛状托葉がある。若葉には微毛がまばらにつく。

**花:** 開花期は6月頃。日本にあるのは雌株のみ。雌花は気中葉の葉脇に1個ずつ着き、高さ約2mmの円筒状、柱頭の白毛が目立つ。

**茎:** 根茎は直径4-5mmでやや赤紫色、節が多く水中を匍匐しながら分枝を繰り返し、長さ1m以上になる。茎の節から、長さ10-30cmの緑色の茎を水上に出し、長さ20-40cmの糸状の根を数本出す。



**特記事項:** 湖沼、河川、池、水路、一部の休耕田などの浅水中に群生する。栄養繁殖が旺盛で地下茎で繁殖する。フサモ属は、日本ではタチモ *M. ussuriense*、ホザキノフサモ *M. spicatum*、フサモ *M. verticillatum*、オグラノフサモ *M. oguraense* の4種が自生する。これらのうち、タチモは準絶滅危惧に、オグラノフサモは絶滅危惧II類に指定されているので注意が必要である。在来種及びsp.を含む10種程度が観賞用等に流通、販売されているが、本種以外の野生化の報告はない。